

たわわ

「たわわ」というタイトルには「小さな情報がたくさん集まって多くの実を結ぶように」という期待が込められています。



特集 人と出会いと繋がりで広がる芸術文化

- 未来に響け 心と心のハーモニー♪
- シリーズ ひらつかの年中行事④
雛まつり

●●●ひらつか文化を創造しよう！みんなで進めるまちづくり●●●
協働のまちづくりを進めるため、市民のみなさんのまちづくり活動への様々な支援や活動を行っています。

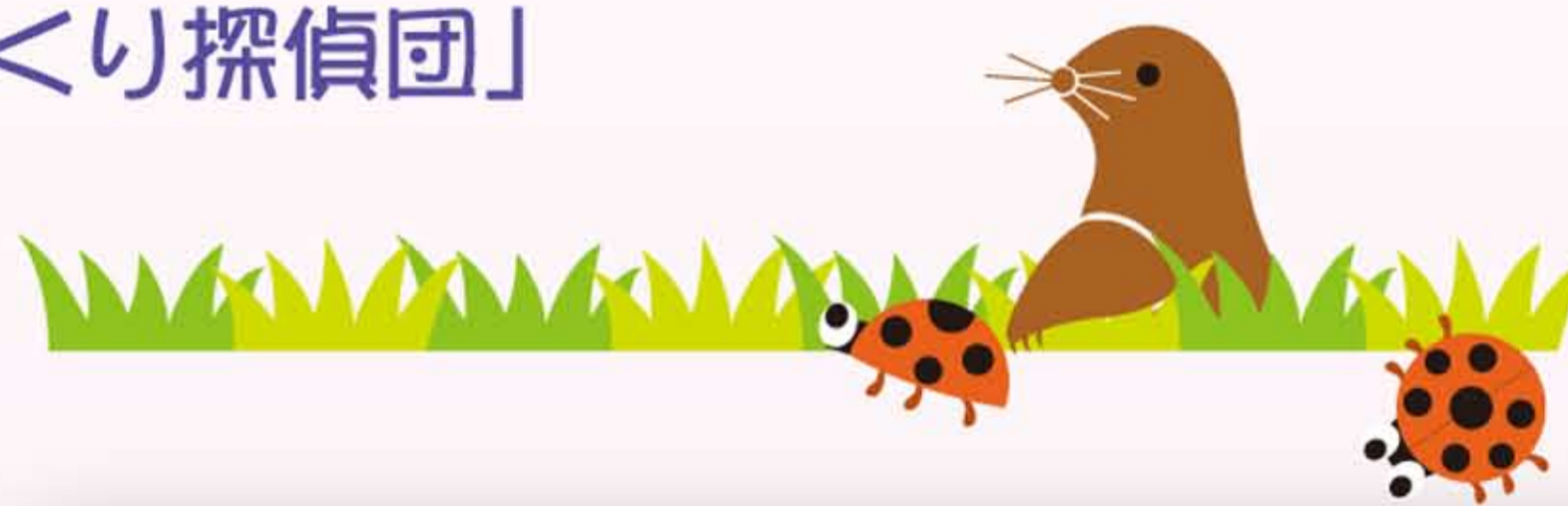


「わたしの好きなまちかどスケッチ展(わたしたちの絵画展)」

子どもたちが、絵を描くことを通じて、平塚のまちに関心を持ってもらうことを目的に、毎年絵画作品を募集しています。そして、市美術館において、応募作品の展示やミニイベントを開催し、まちづくりへの関心をより深めてもらうため、「わたしたちの絵画展」を開催しています。

「まちづくり \heartsuit^2 (わいわい塾)」「まちづくり探偵団」

まちづくりに関する学習の機会として、市民のみなさんや子どもたちを対象とした、講座を開催しています。



今後の講座開催予定

- ★3月24日・27日「まちづくり \heartsuit^2 (わいわい塾)」を開催！詳しくは「広報ひらつか3月1日号」をご覧ください。
- ★3月30日「まちづくり探偵団」を開催！詳しくは「広報ひらつか2月15日号」をご覧ください。

問い合わせ先：平塚市 まちづくり政策課 tel: 0463-23-1111(内線2570) fax: 0463-23-9467

人と出会いと繋がりで広がる芸術文化



おおや けいこ
大屋 啓子

平塚芸術文化実行委員会代表
生涯学習音楽指導員研究会ネットワーク全国副代表
生涯学習音楽指導員A級
神奈川県立平塚商業高校音楽科非常勤講師



平成21年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業として、平塚芸術文化実行委員会を立ち上げ実施しています。

私は音楽振興法の趣旨に基づいた、財団法人音楽文化創造の生涯学習音楽指導員養成講習会に参加し、地域の音楽学習や音楽活動の活性化を図るため、生涯学習音楽指導者としての、新たな役割を担うこととなりました。

生涯学習音楽指導員養成の道を開いたのが、音楽文化創造島崎理事長でした。(季刊音楽文化の創造cmc 54号より)

<公教育における音楽教育の後退と音楽指導員養成の必要性>

ひたすら「ものの豊かさ」を求めた20世紀、21世紀に備えて新しい経済成長とイノベーションに耐える人材の育成へと舵がきられ、「ゆとり教育」よりも「理数系教育」の充実へと次第に重点が移されてきました。こうした中で「公教育における音楽教育の後退」に危機感をもった音楽教育関係者や音楽業界の方々が「音楽教育国民会議」を結成し、「音楽文化進行の基本法制定」を願い、約30万人の全国署名を集めて、国会への要請行動を行いました。当時衆議院文教常任委員長ポストに、嶋崎譲(当時日本社会党副委員長)が選出され、平成6年、衆・参両院議員で構成された超党派の「音楽議員連盟」の力を借り、「音楽振興法」を議員立法で成立させました。この法律の制定によって、21世紀を展望し、人間の「心の豊かさ」を求めた音楽文化を推進するため、「生涯学習音楽指導員」養成の道が開けたのです。(執筆島崎譲)

私は今まで、学校や地域の方々と音楽指導で関わってきましたが、A級音楽学習音楽指導員となり、新たに地域の音楽文化・教育の企画と運営に携わるようになりました。

これまでに、平成17年より文部科学省委託地域子ども教室推進事業、文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業(【竹】創造のまち平塚)、子どもミュージカル創造活動で、地域人材の活用による文化活動支援事業、文部科放課後活動支援モデル事業などを実施しました。

子どもの参加者は毎年増え続け、子どもから大人まで幅広い年齢層の相互理解のもと、総合芸術へ積極的に取り組む意欲の高揚をひしひしと感じました。

更に、一昨年公演された平塚市民オペラ「カルメン」では、総監督の岩崎由紀子先生の総合芸術に対する群を抜く指導力と舞台美術、照明にいたるまでの人脈をもっておられることで、総合芸術創作活動に多くの人々が参加し、その舞台の出来栄に感動を共有しました。

今年度平塚芸術文化実行委員会を立ち上げたのは、このような成果を目の当たりにして、平塚市に子どもから高齢者まで楽しめる総合芸術活動の芽を育て、定着させることに希望が持てたからです。

平成21年12月23日「国際音楽の日」記念シンポジウムコンサート“サンタクロースの贈り物”は総監督岩崎由紀子、舞台美術川口直次、舞台製作NHKアート、伴奏&アレンジ石黒孝子他2名、子どもの合唱3団体(総勢60名)、音楽芸能を目指す若い芽の高校生、活躍中の声楽家と、子どもから大人まで様々なジャンルのアマチュア、プロが集い、総合芸術の舞台を創造する喜びを共有することができました。観客の皆さんも総合芸術の素晴らしさを感じ、楽しんでいただけたコンサートではなかったでしょうか。



文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業、地域人材の活用による文化活動支援事業企画と運営にあたり、平塚市、文化財団、教育委員会の御支援、御協力、そして、第九実行委員会はじめ音楽団体のリーダーの方々へのサポートに深く感謝いたしております。

平塚において、音楽を通して子どもから高齢者にいたる様々な人と人の繋がりを大切に、明るく豊かな音楽文化を皆さんと共に育てていきたいと思っています。

未来に響け 心と心のハーモニー♪

～平塚市民合唱サークル活動紹介(最終回)～

真土っ子ふれあい合唱団

真土小の児童、卒業生、親を中心に、年5、6回の舞台を目標に、又なるべく地域での発表を大切に活動しております。創団11年を迎えますが、一貫して、合唱組曲“ぞうれっしゃがやってきた”に取り組み、全曲完成を目指し、日々練習しています。暗く悲しい時代の中、象を守った勇気ある人々と、明るい時代を夢見て希望を捨てない子供達の情熱、実話故の感動を、今後も親子で精一杯、もっともっと多くの方々に発信してゆきたいと思っております。

真土っ子ふれあい合唱団 団長 青木謙治



こいぞマザーズコール

幼稚園のサークルをきっかけに結成し8年目を迎えました。指揮兼伴奏の添田先生により月2回の練習でクラシックからゴスペル、童謡など幅広いジャンルを歌っています。発表の場は幼稚園、老人施設、ライブカフェ等で仲間と共に楽しさ、感動を味わっています。日頃は家事や子育てに追われる私達ですが、歌い語り合うことで悩みや喜びを共有し、これからはますます夢の舞台を経験したいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

連絡先 添田

電話 0463-61-9262



平塚少年少女合唱団

平塚少年少女合唱団は、昨年6月に創団30年を迎え、12月に30周年の記念演奏会を開催しました。写真は、その時合同演奏した、元団員や指揮者の指導する他団体の有志と一緒に撮ったものです。練習は、土曜の午後2回と休日に月1回1日練習をしています。小学生から高校生までが仲良く歌っています。

詳しくは <http://www.scn-net.ne.jp/~gassyou> をご覧ください。



平塚市民の合唱への意識は、今、地道に、そして着実に高まりをみせています。現在、平塚市内には、数多くの合唱サークルがあり、活発に活動しています。また、「市民合唱祭」や「第九のつどい」、そして一昨年12月に実施しました「市民オペラ」にも、市民の皆さんの積極的なご参加をいただきました。合唱を通じてひらつかの未来を創る、「合唱のまち」を担う市民合唱サークルの活動を、「たわわ」では紹介してまいりました。今後の市民合唱サークルの活動にご期待ください。

平塚ジュニアコール

団員19名(男子5名、女子14名)は、毎週元気に活発な練習風景を繰り広げています。「市民合唱祭」「県ジュニア合唱祭」をはじめ「ナパサあおぞら合唱祭」等へと活動の場を広げ、一昨年度は市民オペラ初演「カルメン」、今年度は「井上あずみファミリーコンサート」と「サンタクロースの贈り物」に歌う機会をいただき、情操的にも音楽的にもかけがえない経験をさせていただきました。今後も積極的に子供達のパワーを合唱に反映させていきます。明るく澄んだ子供達の歌声の輪を更に大きなものにするべく、随時団員を募集しています。ホームページ&ブログで団の様子を公開しています。興味のある方はどうぞお立ち寄り下さい。

H P <http://homepage2.nifty.com/we-kamba/junior.html>

連絡先 神林

電話 0463-23-7260



平塚男声合唱団コール・ブラックス

私たちは、ここ平塚を中心に活動している結成17年目の男声合唱団です。現在、指揮者を含め20数名の団員があり、毎月第2と第4の土曜の晩に豊田分庁舎・松原公民館で練習しています。今年、6月12日(土)の夕方より中央公民館にて5回目の単独コンサートを開催し、多田武彦先生の作品、ジャズミサ、懐メロ等を演奏します。

僕らの絆なハーモニーを是非聞きに来て下さい。

詳細はホームページ <http://www.blacks.jpn.org/>

連絡先は

call@blacks.jpn.org

まで。



大磯小学校合唱団

現在、3年生から6年生までの59名で活動しています。主な活動として、TBS音楽コンクール(8月)、大磯町文化祭(10月)、大磯町小中音楽会(1月)、合唱団吹奏楽部校内合同定期演奏会(2月)、市民合唱祭(3月)に参加しています。

練習は土曜練習が月2～3回、朝練が火と金の2回です。音楽を楽しく、しっかり続けることを大切にして、日々、精進しています。三部合唱が安定してきましたので、これからが楽しみです。

連絡先 石塚・尾原

電話 0463-61-0140



シリーズ

ひらつかの年中行事 ④

雛まつり

3月3日の雛まつりは、上巳(じょうし)の節供ともいい、正月7日の人日(じんじつ)、5月5日の端午(たんご)、7月7日の七夕、9月9日の重陽(ちょうよう)とともに五節供のひとつです。豊作・豊漁の祈願・感謝にもとづく年中行事が農林漁業者の減少で簡素化していく中、子どもの健やかな成長を祈願する3月と5月のお節供は、時代が変わっても多くの家庭で行われています。

長女の初節供には、お嫁さんの実家からお祝いに内裏雛(だいらびな)が贈られ、親戚や組内からも様々な人形が届けら

れました。贈り物をしてくれた人たちを初節供に招き、お汁粉や巻き寿司などの御馳走でもてなしました。

写真左手の座敷に飾られた雛人形は、明治26年生まれの人がこの家へ嫁いだときに持ってきた内裏雛です。明治時代のお雛様は現代のものより大きく、瓜実(うりざね)顔をしていました。その手前の小さな内裏雛は当主の妹さんのお雛様で、昭和初期のもので、右大臣左大臣や高砂の翁媪(おきなおうな)の人形も飾られています。雛壇の手前には膳を置き、菱餅やアラシをのせて雛人形へ供えています。この家では3月1日に餅をつき、菱形の木型にあわせて餅を切って菱餅をつくり、下から緑・白・赤の順に重ねて供えます。

写真右手の奥の間にはお孫さんの雛人形が飾られています。お嫁さんのお雛様もあり、これは働かなくてはいけないからと茶の間に飾られます。こうして祖母・妹・嫁・孫と四代に

わたるお雛様が飾られているのですが、すべてのお雛様が飾り続けられるとは限りません。

少し前までは、道祖神に雛人形やぬいぐるみが納められた光景を目にすることがありました。古くなった人形を処分したのですが、かつては子どもが百日咳や水疱瘡などの流行病にかかって治ったときに、お雛様や人形を道祖神へ送り出す風習がありました。人形を子どもの身代わりに見立て、病気を送り出したのです。このことは、子どもの心身の穢れを雛人形へ託し、川や海へ流して祓う、流し雛の考えに通じます。雛人形の起源は、この流し雛に求めることができます。

(平塚市博物館学芸担当)



新旧の雛飾り(岡崎)

3/6 土 **チケット販売**
1/19(火)
10:00~

文化財団
シネマ劇場

開場/12:30
上映作品/13:00~「ローマの休日」
アメリカ映画/白黒(118分)
15:15~「劔岳 点の記」
日本映画/カラー(139分)

上映会場/平塚市民センターホール
入場料/全席自由
大人1,000円 高校生以下500円
※2作品セット券のみ

3/14 日 **第37回ひらつか** **入場無料**
全席自由

市民合唱祭

■出演団体■
あゆみコール/ARDENZA/Ensemble Harmo/
アンサンブルKamba/あんさんぶる・しましま/
アンサンブル・ボエム/大磯小学校合唱団/
大原高等学校合唱部/合唱団パールグループ/
こいぞマザーズコール/コールシルバー/コールスワン/
コールViolet/コール・フェスタ/混声合唱団 湘南グロリア/
混声合唱団 平塚コールグリーン/さきどりマミーコール/
女性合唱団 コール・マリブルー/
女性合唱団 コールみなみはら/JOYFUL/
真土つ子ふれあい合唱団/そよかぜ/つちやホーム/
ドルフィン&ブルーエコー/なぎさヴォーカル/
年金者組合うたごえサロン/年金者組合コール絆/
Harmonic Wave/花水エコー/ひばり野コール/
ピュアブルー/平塚混声合唱団/Hiratsuka Civic Choir/
平塚ジュニアコール/平塚少年少女合唱団/
平塚男声合唱団コールブラックス/フラワーコール/
ボコ・ア・ボコ/まどかコーラス/ラ・カンパネラ(五十音順)

開演/10:00
会場/平塚市民センターホール

3/27 土 **チケット販売**
1/17(日)
10:00~

湘南
百番寄席
IN 商工会議所

開演/17:30 開場/17:00
会場/平塚商工会議所会館 3階大ホール
入場料/全席自由 当日3,000円
前売2,500円

出演/金原亭馬生、金原亭馬吉、
荻野アンナ(金原亭駒ん奈)

平塚市文化振興基金にご協力を!!

- 平塚市文化振興基金にご協力いただいた方(敬称略) (平成21年10月から12月) ■湘南新舞踊協会(10.18)
- 社団法人茶道裏千家淡交会湘南支部(10.22) ■平塚市ビルメンテナンス業協同組合(12.16) ■竹遊会(12.17)



発行//平塚市(文化・交流課)

●お問い合わせ及び寄付金のお申し込み

〒254-0045 平塚市見附町15-1

TEL 0463-32-2235 FAX 0463-31-6466

ご意見ご感想などお聞かせください(今後の参考とさせていただきます) →ご意見等はEメールで(E-mail //bunkoh@city.hiratsuka.lg.jp)